

第12回下田水仙ツデーマーチ

【参加者数】

	30 Km	23 Km	10・13 Km	合計
タライ岬コース	258名	323名	205名	786名
下田水仙コース	114名	276名	346名	736名
計	372名	599名	551名	1522名
伊豆歩倶楽部会員 (全体参加者の内)				
タライ岬コース	47名	下田水仙コース	37名	計84名

1月9日(土) 天気/晴れ 1日目 タライ岬コース



晴天で風もなく最高のウォーキング日和である。
誰がこんなすばらしい自然を用意してくれたのでしょうか。
歓迎の「朝日子供太鼓」が響き渡る会場。



全国から多くのウォーカーが参加してくれた。
子どもウォーカー100キロ達成で大賀茂の
増田和奈さん・美咲さん姉妹が日本ウォーキング
協会元名誉会長江橋慎四朗さんから表彰された。



伊豆歩倶楽部会員でJWA健康ウォーキング指導士の
味岡照介さんの指導でストレッチがおこなわれ、
参加者は十分に体をほぐすことができました。



いつも裏方で大会を支えている人。
伊豆歩事務局長・笹本さん。
今日も四方八方走り回って忙しそうでした。
ご苦労様です。



受付をする人。参加者数を数える人。参加者の最後尾を参加者の
安全を確認しながら歩く「アンカー」をする人など、多くの人に
支えられてこの大会が運営されています。



「鍋田浜」の光る海は美しい。伊豆の海はすばらしい。
 天気も最高。海に入りたくなる衝動に襲われます。
 透明で海の底まではっきりと見えました



1月9日参加人数			
	地元	一般	合計
30km	64名	194名	258名
21km	75名	248名	323名
10km	34名	121名	155名
	233名	563名	786名

16時すぎに30kmのアンカーも無事到着。
 1日目終了。参加者は、786人。
 みなさん楽しんでいただいたことでしょう。

1月10日(日) 天気/晴れ 2日目 下田水仙コース



JWA・小林専務の挨拶で二日目の水仙ウオークが
 幕をおろしました。
 今日も全国から多くの参加者が駆けつけてくれました。



少し風があるものの晴天でホットしているのは、
 きっと・・・大会事務局関係者でしょう。



下田市の観光課スタッフ。
 静岡朝日新聞スタッフ。
 そして、いつもタフな伊豆歩俱樂部事務局長・笹本さん。



東京都小平市から参加の女性3人が、やさしい檄をしてくれました。
 中川みどりさん(72歳)は、三年前ひざの皿を割り、リハビリ後に
 ウォーキングに復帰されました。
 これからも無理せずウォーキングを楽しんでほしいです。



下田太鼓に送られて、13kmの参加者が勢いよくスタートしていきました。
「歩育」に携わる元気な女性陣の一団も参加してくれました。



下田港からは、「黒船・サスケハナ号」も見送りです。
13kmのアンカーです。
最後尾で参加者の安全を見守る役目です。



柿崎は「どんど焼き」のおんべが製作中でした。
湾には、ヨットが係留されています。



昼食は、須崎区の「いけんだ煮」の味噌汁のおもてなし。
あたたかいもてなしの汁物に参加者の顔もほころび、
みんな美味しそうにほおばっていました。
のどかな須崎漁港から爪木崎に向けて遊歩道に入ります。



風もあまりなく最高の景色。
海の青さがすばらしい。
渡船が白波を立てて島に向かっていく。
遠くには目指す爪木崎灯台が見えている。



爪木崎の公園には、「菜の花」「アロエ」の花などたくさんの花が
咲いていました。
伊豆の暖かさを演出しています。
観光客も多く来ていました。



西日を受けて海が輝いている。
東側は静かな入江。
エメラルドグリーンの海が神秘的。
水仙の甘い香りが漂っている。



水仙はほぼ満開状態。
よく手入れがされていてきれいな公園になっています。
水仙300万本の群生地です。



爪木半島のまん中の山道を歩いていくと、
下田湾を見下ろす展望台がありました。
おだやかな下田湾が見られました。
15時15分無事到着。
たのしい二日間のウォーキングとなりました。

『第12回伊豆早春フラワーウォーキング・第12回下田水仙ツデーマーチ <タライ岬>コース』に参加して

伊豆歩倶楽部会員 606 杉山 豊

1月9日(土)妻が所用のため私一人、ベイ・ステージ下田に向かう(車中、昨年天城路22kmを完歩出来たので、下田水仙では、30kmに挑戦して見ようと考えた)。会場では、全国各地から参加される人々で熱気ムンムン。見るからに健脚揃いのいで立ちで圧倒される。折角参加するのだから完歩なくてはと受付へ。会員の皆さんと挨拶を交わす。出発前の来賓の挨拶。出発の檄。いざスタート。

風も無く歩くには少し暑いかなと思いつつ、先頭の方々と話しながら歩く。9kmチェックポイント過ぎ、足に違和感があり県外の3名に抜かれる。目標は完歩。足の様子を見ながら、弓ヶ浜までマイペース。休憩所での味噌汁の美味しさが体力を快復させ、タライ岬に向かう。風が少し冷たく、体温の低下と足のケイレンが起き、様子を見ながらサンドスキー場を右に、吉佐美、鍋田浜を目指す。徐々に体力、足の痛みも消え、午前中と同じ体力に戻り、県外の方とペースが同じでしたのでゴールまで歩くことが出来ました。

南伊豆、下田は海・山の景色が良く、何回歩いていても良いコースだと思う。案内看板は見やすく、旗等遠方でも見えてまごつくことなく、役員さんの準備、苦勞に感謝しつつ完歩する事が出来ました。